

Coro Espressivo

クリスマス・チャリティ・コンサート
～「聖グレゴリオの家」活動支援のために～

Christmas Charity Concert

2018年12月02日(日)

15:30 開場 / 16:00 開演

■ 慶應義塾 日吉キャンパス / 協生館 藤原洋記念ホール
東急東横線・目黒線、市営地下鉄グリーンライン 日吉駅より徒歩1分・案内図裏面
※本演奏会のための駐車場はありませんので公共の交通機関をご利用下さい。

■ 入場料 ￥1,000-

※ 収益すべてを、「聖グレゴリオの家」に献金させていただきます。

「コーロ・エスプレッシーヴォ」

指揮：池田 龍亮
伴奏：船田 柚佳

聖グレゴリオの家

「カペラ・グレゴリアーナ」

指揮：橋本 周子

「東京スコラ・カントールム」

指揮：福井 良太郎
伴奏：田中 理恵

女声アンサンブル「ミルフィーユ」

指揮：藤崎 美苗
伴奏：中澤 薫子、野村 牧子

Photo: Aflo

■ 主な演奏曲目

◆「コーロ・エスプレッシーヴォ」

- ◆ ジョン・ラター of クリスマス
Away in a manger
The very best time of year 他
- ◆ クリスマスのポピュラー・ソング
Jingle Bell
White Christmas 他

◆「カペラ・グレゴリアーナ」

- ◆ グレゴリオ聖歌 /
クリスマス前日のミサ 入祭唱 Hodie scietis 他
- ◆ 合唱 /
Morales: 羊飼いのよ、あなた方が見たことをわたしたちに告げよ

◆「東京スコラ・カントールム」

- ◆ Schütz : Cantate Domino canticum novum
- ◆ Fernando Sor : O Crux, ave spes unica 他

◆女声アンサンブル「ミルフィーユ」

- ◆ カペラの三声のミサ: Gloria, Sanctus
- ◆ Rutter : Candlelight Carol 他

◆ 合同演奏

- ◆ いのち
- ◆ ハレルヤ コーラス (Messiah から)

主催 / コーロ・エスプレッシーヴォ
 協賛 / 聖グレゴリオの家賛助会
 客演 / 聖グレゴリオの家聖歌隊「カペラ・グレゴリアーナ」
 賛助出演 / 東京スコラ・カントールム
 女声アンサンブル ミルフィーユ

■ お問い合わせ
 聖グレゴリオの家 事務局 / 042-474-8915
 コーロ・エスプレッシーヴォ(池田) / 090-6047-2677
 東京スコラ・カントールム(浅海) / 080-6702-0274
 女声アンサンブル ミルフィーユ(上原) / 042-321-2542

■ コーロ・エスプレッシーヴォ

1993年夏、群馬の榛名山麓にある社会福祉法人『新生会』の高齢者ホームに入居されている皆さまに歌をお届けするため、有志の合唱仲間が集まり、現地を訪問して演奏会を行いました。以来、この演奏会は毎年初夏の海の日の週末の活動として定着し、25年を超えた現在でも歌声ボランティア合唱団「コーロ・エスプレッシーヴォ」の活動の中心となっています。また東日本大震災の復興支援活動も活発に行っており、2012年から7年連続で、震災と原発被災に苦しむ福島県南相馬市、二本松市、郡山市等を訪問して、復興支援演奏会を行っています。

「聖グレゴリオの家」の活動支援のためのクリスマス演奏会は2010年から始まり、今年のチャリティ演奏会は早くも9回目となります。

合唱団の名称「コーロ・エスプレッシーヴォ」は、「情感豊かに」という意味の音楽用語から採られ、私達の演奏の目標を示しています。



■ カベラ・グレゴリアーナ

聖グレゴリオの家 宗教音楽研究所の研究部門の一つで聖歌隊とソリスト達による声楽アンサンブル「ファヴォリート」の二つの組織で構成されています。同研究所所長、橋本周子指導の下、グレゴリオ聖歌の古記譜法に基づく演奏の研究に力を注ぐと共に、ローマ・カトリック教会のみならずキリスト教他宗派の音楽や新たに作曲された曲などを、日々典礼の中で実際に歌いながら、現代における宗教音楽の可能性を探ることを目的として活動しています。2008年、2011年、2014年、2017年と継続的にハンガリーのヴァーツにおける国際グレゴリオ聖歌フェスティバルに出演し、高い評価を受けると共に、継続的にCD録音も行っています。

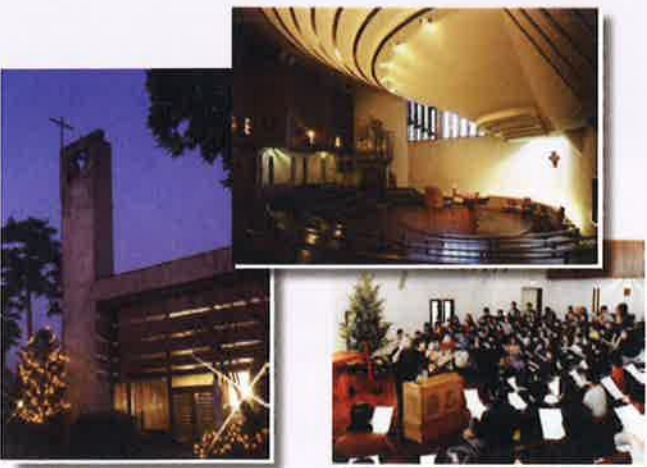
■ 東京スコラ・カントールム

1979年2月11日、教会音楽の研究、演奏を目的として創立されました。発足以来、一貫して「歌うことは倍祈ること」、「理解されるよりも理解する立場に」を根幹として、チャリティーによる演奏会活動を目指し、青木洋也先生を常任指揮者に迎え、多岐にわたる教会音楽の演奏を続けています。年1~2回の教会を中心とした定期演奏会、音楽による奉仕活動等を行っています。なお、演奏会の収益金は主にキリスト教系社会福祉関連団体への献金、また、ドイツ音楽研修旅行や五島列島・南相馬市への巡礼の旅等音楽による奉仕活動を行っています。来年は、創立40周年を迎えることになりました。さらに充実した教会音楽の研究、演奏活動を目指してまいります。



■ 女声アンサンブル ミルフィーユ

ミルフィーユは、2013年に藤崎美苗先生がご出産を控えご指導をセーブされた時に、先生の美しいお声とお別れしたくないと望む人たちが立ち上げた女声合唱団です。平日昼間、月1回のペースで、介護や孫の世話などで忙しくても続けられる、皆で集まって美味しいお菓子のミルフィーユのように声を重ね合わせて楽しく歌いましょう、というほんわかしたコンセプト。歌う曲は先生と相談して決めていて、ミサ曲あり、ドイツ語、フランス語、日本語あり、アカペラありとバラエティ豊か。この度は初めての発表の場で、ちよつと緊張しています。



■ 聖グレゴリオの家・宗教音楽研究所について

<http://st-gregorio.or.jp>

聖グレゴリオの家は、1979年9月に独立法人として設立され、祈り・研究・教育という3本の柱から成り立っています。その目的は、祈り、典礼を祝いながら、教会音楽の研究、保存、普及、そして教育をすることにあります。この家はケルン大司教区をはじめ、創設者故ゲレオン・ゴールドマン神父（フランシスコ会フルダ管区）を知るヨーロッパの方々への献金によって建設され、その後の運営もこの方々をはじめとする多くの方々の援助と祈りに支えられて参りました。

また2005年にはローマ教皇庁教育聖省によって、聖グレゴリオの家 宗教音楽研究所とレーゲンスブルグ教会音楽・教育音楽大学との提携が認可され、それによって日本でもドイツの教会音楽家の資格を取得できるようになりました。当初から宗教、宗派を超えて（エキュメニカル）相互の交流を大切にしながら、日本における教会音楽の可能性を追求しております。

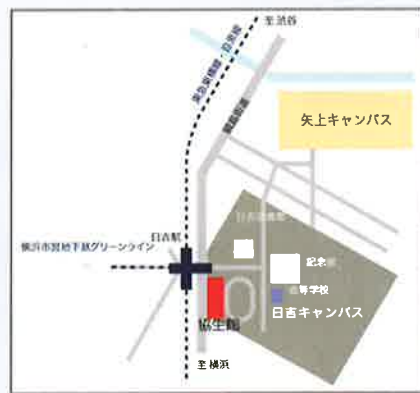
聖グレゴリオの家 宗教音楽研究所所長 橋本周子

コーロ・エスプレッシーヴォ クリスマス・チャリティ・コンサート ~「聖グレゴリオの家」活動支援のために~

2018年12月02日(日)
15:30 開場 / 16:00 開演
入場料: ¥1,000-

※ 収益すべてを、「聖グレゴリオの家」に献金させていただきます。

■ お問い合わせ: 聖グレゴリオの家賛助会 事務局 / 042-474-8915
コーロ・エスプレッシーヴォ(池田) / 090-6047-2677
東京スコラ・カントールム(浅海) / 080-6702-0274
女声アンサンブル ミルフィーユ(上原) / 042-321-2542



慶應義塾 日吉キャンパス
協生館 /
藤原洋記念ホール

東急東横線・目黒線
横浜市営地下鉄グリーンライン
「日吉駅」徒歩1分

※本演奏会のための駐車場はございませんので公共交通機関をご利用下さい。